



かっせんはら100 ほんち



＜宮城病院基本理念＞良い医療を安全に心を込めて、地域とともに

室長着任のご挨拶



日頃よりご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。
昨年4月に当院着任のご挨拶を申し上げましたが、本年4月から
室長を拝命いたしました。この地に欠かせない病院として皆さまに応援いただけるよう、
開設15年目となる地域医療連携室一同、力を尽くしてまいります。

亘理郡において当院は、入院病床をもつ唯一の医療機関です。290床のうち、地域包括ケア
病棟の50床と障害者病棟の一部がこのようなニーズに対応します。山元町の高齢化率は65
歳以上42.3%と県内4番目、その3人に2人近くが75歳以上です〔2025年3月31日宮城県
高齢者人口調査〕。このような地域の高齢者では、「^{たひょう}多病（多疾患併存）」と「^{たさいへいよう}多剤併用
（ポリファーマシー）」が医療・介護における最大の課題です。

多病は、ひとりの患者さんが慢性の病気を複数同時にかかえている状態で、病気が互いに悪
影響を及ぼし合います。たとえば、膝の痛みをかかえる方が遂に散歩をやめてしまうと運動
量が減ります。すると糖尿病や高血圧が悪化し、さらには脳卒中や認知症になりやすくなる
といった悪循環です。多病では、通院先も処方される薬の種類も増えやすくなります。6種類
以上の長期処方副作用の危険性を高め、ふらつきや物忘れ、食欲低下といった症状が発生
しやすくなります。この多剤併用に対して、処方薬の整理・減量を加齢とともに進めるアプ
ローチが必須です。

もともと身体の予備能力が低下している高齢者に多病が重なった場合、ひとつの病気の悪化
や転倒などをきっかけに直ぐさま要介護状態となり得ます。このような方々を支えるため、
地域包括ケアシステムのさらなる充実が求められます。お一人お一人の多病を認識・共有し、
医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設、行政など相互に協力が必要です。単な
る連携にとどまらず、力を合わせた協働を地域のために、どうぞよろしくお願い申し上げま
す。

新任医師のご挨拶

形成外科医師 さわむら たけし
澤村 武



形成外科の澤村武と申します。この3月でみやぎ県南中核病院を定年退職し、その後縁あって宮城病院に勤めさせていただいております。

私は大学病院をでてからは、仙台医療センターに約5年、その後石巻赤十字病院で科長となり、約5年勤め、みやぎ県南中核病院で23年間勤めました。これまで形成外科一般、手の外科、褥瘡、熱傷などの治療を行ってきました。

月、水、金週3日の時短勤務でもあり大きな手術はできませんが、外科的な部分で地域医療に貢献したいと思います。よろしくお願い申し上げます。



連携室新スタッフ紹介

地域医療連携室副室長（経営企画室長） まいはら のりお
舞原 範夫



国立病院機構福島病院より赴任いたしました舞原と申します。

宮城病院には、職員係長及び庶務班長での勤務経験があり、今回が3度目の勤務となります。赴任して感じたことは、院内の部屋の配置が大きく変わっており、一部外観と内装は新築そっくりさんとまではいきませんが、すごく綺麗になっていたことにびっくりしました。

さて、宮城病院は昭和14年に創設され、地域の医療・行政機関と連携を行いながら今年で87年を迎える歴史のある病院です。地域の高齢化が高まる中、必要な医療・介護の提供体制も大きく変化してきており、地域包括ケアシステムの深化・推進が求められているところですが、当院でも病院が持つ機能を生かしながら、より一層関係機関との連携を図る必要があります。

宮城病院が地域にとって必要とされる存在で有り続けられるよう、微力ながら私も貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

レスパイトケア入院の
ご案内が新しくなりました

〈レスパイトケア入院のご案内〉 2025.12～

当院では、在宅で療養生活をしている患者さんやご家族を支援させていただくため、レスパイトケア入院の受け入れを行います。

患者さんやご家族の休息目的、ご家族のご都合に合わせて入院させていただくことが可能です。



☆ご利用できる方

- ・病状が安定しており、在宅で過ごされている方
- ・常時、医療行為や介護が必要な方
- ・在宅療養が再開できる方
- ・介護保険サービスのショートステイの利用が困難な方

☆ご利用までの流れ

- ①地域医療連携室へケアマネジャーを通して（希望日も含め）ご連絡ください。
- ②医師へ受け入れ可能か相談します。
- ③受け入れが可能でベッド調整ができ次第、ケアマネジャーへご連絡させていただきます。

※ご希望に添えるよう調整しますが、ご希望日より前後する場合がありますことはご了承ください。

※かかりつけ医からの診療情報提供書が必要となります。



当院ホームページより
「レスパイトケア入院申込書」を
ダウンロードできますので、
ご相談の際は診療情報提供書と一緒に
FAXをお願いします！

〈問い合わせ先〉

宮城病院 地域医療連携室
TEL:0223-37-1131
FAX:0223-37-5055

第17回 医療と看護・介護の 多職種連携研修 開催



3月19日、当院大会議室にて第17回医療と看護・介護の多職種連携研修を開催しました。今回は当院の認知症看護認定看護師である梶谷亮副看護師長を講師として、「認知症の対応事例について」をテーマに講義が行われました。様々なケースにおける対応事例の紹介の他、当院入院中の患者さんに実際に提供されている「パン粥ムース」の試食、質疑応答や短時間での意見交換会を行い、中身の濃い1時間となりました。今回は対面のみでの開催となりましたが、多くの皆様にお集まりいただき感謝申し上げます。今後も様々なテーマで研修を企画し、ご案内しますので、ぜひご参加ください。



👉 今年度の連携室スタッフです。
どうぞよろしくお願いいたします！

(左から順に)

事務員 宮城 芳恵
副室長 舞原 範夫
副看護師長 作間 智美
地域医療連携係長(看護師長) 佐々 知恵
看護師 永沼 優
室長 割田 仁
相談員 川村 健太
医療相談係長 板橋 彩子
相談員 木村 麻美



かっせんはらニュース

今年度より、相談員のユニフォームが
変わりました。
動きやすくてお気に入りです♪



編集後記

6月に入り、梅雨の時期になりました。気温の変化も大きいですが、皆様体調など崩されていないでしょうか。今回は、地域医療連携室長の着任のご挨拶、新任医師・連携室新スタッフの紹介のほか、レスパイトケア入院のご案内や多職種連携研修のご報告を掲載しております。今後も皆様と連携を深めながら取り組んでいきたいと思います。季節の変わり目ですので、どうぞご自愛ください。

(文責：永沼・川村)

【発行・編集】

独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室

〒989-2202

宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL (0223) 37-1131 (代表)

FAX (0223) 37-5055 (連携室)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>

